

Library Information

図書室からのお知らせ

■寄贈図書のご紹介

図書室では、毎月第2木曜日に、「0歳児からのおはなし会」をおこなっています。絵本の読み聞かせのほか、手袋人形、わらべうたなど、楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、またおじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽にご参加ください。

■日時 7月11日(木)

午前10時30分から

■会場 図書室おはなしのへや

心ふるえるリーガル・ミステリー

袖月 裕子著 / 『検事の信義』



KADOKAWA

小説

任官5年目の検事・佐方真人は、認知症の母を殺害して逮捕された息子・昌平の裁判を担当することになった。昌平は介護疲れから犯行に及んだと自供する。しかし、佐方は遺体発見から逮捕まで「空白の2時間」があることに疑問を抱き…。信念を貫く検事の生き様に、心ふるえるリーガル・ミステリー全4編です。

あの「スイミー」が2カ国版になって登場

レオ=レオ二作 谷川 俊太郎訳 / 『英語でもよめるスイミー』



好社社

児童書

泳ぐのが誰よりも速い魚スイミー。ある日、恐ろしいまぐろに襲われ、兄弟たちが1匹残らず飲み込まれてしまった。逃げたのはスイミーだけで…。多彩な技法で描いた美しい海の様子をダイナミックに伝える絵本。日本でもロングセラーを記録している作品が、英語と日本語の2カ国語版になったおすすめの本です。

新天皇陛下と外国人留学生の友情秘話

アンドルー・B・アークリー著 / 『陛下、今日は何の話しましょう』



すばる舎

一般書

外国人留学生として、浩宮徳仁親王のご学友になって以来、20年以上にわたって家族ぐるみの親交のあった著者が、豊富なエピソードや未公開写真とともに、外国人ならではの視点で新天皇陛下の魅力語る。ここだけの皇室秘話が満載です。巻末に天皇陛下関連の年表もあり、さまざまなご活動についても分かる1冊です。

さっぱりサラダからボリュームサラダまで

牛尾 理恵著 / 『おそうざいサラダの本』



池田書店

教養娯楽

キャベツやトマト、じゃがいも、にんじん、玉ねぎを使った、作り置きと使い切りサラダをはじめ、肉や魚介と作るボリューム主菜サラダ、豆、雑穀、フルーツと合わせるバランスサラダなど、おそうざいになるサラダのレシピを紹介します。さっと作れてもりもり食べられる、食欲の落ちやすいこの季節にぴったりのレシピ集です。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

●図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

わ たしがおすすめる本は、「金栗四三」という本です。この本を読むきっかけとなったのが、たいがドラマ「いだてん」で主人公の金栗四三にきょうみがわき、たまたま図書室でみつけたことでした。

金栗四三は、百年いじょうも前に、日本人ではじめてオリンピックにしゅつじょうしたマラソンせんしゅです。

今月の案内人



田上 虹夏さん
〔緑町区〕

この本は「金栗四三」のしょうがいや生活のことが、マンガでわかりやすくかかれていますので、老若

Read This Story! ～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『金栗四三』(大谷じろうまんが、水野光博文)

日本人初のオリンピックで、箱根駅伝創設に尽力した金栗四三の人生を学習まんが化。どんなときもくじけない「いだてん」の姿に闘志が湧く1冊。

男女問わず読めると思います。

そこで問題です。

- ・金栗四三はなぜ「四三」という名前がつけられたのでしょうか？
- ・子どものころ、どうやって足の力をきたえていたのでしょうか？
- ・マラソンのきろく「54年8ヶ月6日5時間32分20秒3」はどのようにして生まれたのでしょうか？

その答えが知りたい方は、ぜひ読んでみてください。おすすめです。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶ IT講習会のご案内

生涯学習「IT講習会」を開催します

●開催期間

9月～11月

●会場

町生涯学習センター・視聴覚室

●内容

1. はじめてのパソコン Windows10
2. Excel 基礎から中級
3. Word の基礎と文書作成
4. Line 活用

※詳しい日程や申し込み方法などについては後日改めて、全戸配布などでお知らせします。

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

町公民館主催講座 ステップアップ講座

5月29日(水) 町保健福祉センター・調理室で「ステップアップ講座」を開催しました。

第1回の今回は「ふわふわパンケーキとどら焼き作り」に参加者10人が挑戦。



▲パンケーキやどら焼きの調理を楽しむ参加者

パンケーキ作りでは、泡がつかないように混ぜて作ったメレンゲをホットプレートに盛り、少量のお湯

を加えて蒸し焼きにします。一方、どら焼きは米粉を入れてもちりとした皮をつぶし餡と生クリームを混ぜた軽い食感のクリームを挟みました。

出来上がったパンケーキとどら焼きの試食をした参加者は、「孫にも作ってぜひ食べさせたい」と話しました。

町公民館出前講座

食中毒について学ぶ

6月17日(月) 上揚公民館で、「食中毒」についての出前講座を開催しました。町保健福祉センターの広津めぐみ管理栄養士を講師に迎え、食中毒について学習しました。参加者は15人。食中毒を起こす原因は「細菌」と「ウイルス」で、

細菌は温度や湿度などの条件がそろうと食べ物の中で増殖し、それを人が食べることで食中毒を引き起こし



▲食中毒の原因と予防の方法を学ぶ参加者

ます。

参加者は講座を通して、食中毒を防ぐために、料理を食べきれず残してしまつた場合は必ず冷蔵庫に保管し、食べる時は再加熱することや、ウイルスの感染を防ぐための正しい手洗いやうがいする方法について学びました。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■同和問題は、出身を理由にしたいわれのない差別です

日本には、特定の地域の出身であることなどを理由にした差別問題があります。そうした地域を「同和地区」「被差別部落」、この差別問題を「同和問題」と呼んでいます。

～中略～

企業に関する就職・職場での問題は、同和地区出身者を「採用しない」「賃金や待遇に差をつける」といったことなどです。実際に、1975(昭和50)年に、相当数の大手企業が『部落地名総鑑』という図

書を購入していたことが発覚しました。

～中略～

この事件は人権侵犯事件として扱われ、当該図書は回収・処分されましたが、その後も似たものが作られ、最近ではインターネット上に同様の内容のものが流されたという報告があり、差別は今もなくなっていないことがわかります。

就職差別をなくすには、就職採用選考を公正に行うことが大切です。本籍や出生地、家族の職業や収入、家族構成、生活環境などは、その人の適性・能力とは関係ありませんか

ら、選考の場で、これらのことを書類に書かせたり、面接で聞いたりする必要はないはずです。

～中略～

同和問題について企業全体で正しく理解し、一人ひとりが大切にされ、公平で公正に働ける職場を皆で作っていきましょう。

企業で働く人のための人権啓発冊子(人権教育啓発推進センター)より抜粋